

盛岡市総合計画実施計画

ー 平成29年度実績（戦略プロジェクト） ー

目 次

	戦略プロジェクトの概要	1
重点 1	子育て応援プロジェクト	2
重点 2	きらり盛岡おでんせプロジェクト	5
重点 3	「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト	8

■ 戦略プロジェクトについて

基本目標を達成するため、各分野の29施策において、それぞれ取組を推進していく一方で、未来に向け、特に重点的・施策横断的に取り組む必要のある課題に対応するため、施策単位での取組を連携させながら事業実施の効果を高め、課題を解決し、基本目標の達成や将来像の実現を目指していく必要があります。

このことから、「社会の潮流」や「まちづくりを考える上で重視する視点」等から導かれる本市の課題を踏まえた、重点的・施策横断的な取組を「戦略プロジェクト」として展開します。

■ 戦略プロジェクトの取扱い

戦略プロジェクトは、毎年見直しを行い、戦略プロジェクトの加除のほか、戦略プロジェクトを構成する重点事業の加除を行いながら、弾力的で効果的な運用を図ります。

■ 施策間の連携

「戦略プロジェクト」に掲げる事業は、「まちづくりの取組」に掲げる施策の中に含まれますが、施策横断的に取り組むことにより、効果的な連携を図ります。

■ 取組期間

概ね3年を目途に重点を置いた取組を進めます。

■ 取組項目（29年度）

重点1 子育て応援プロジェクト（3年目^{*1}）

重点2 きらり盛岡おでんせプロジェクト（3年目^{*1}）

重点3 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト（新規^{*2}）

^{*1} 重点1及び重点2は、29年度が取組期間の最終年度となります。

^{*2} 重点3は、29年度が取組期間の初年度となります。

重点１ 子育て応援プロジェクト（取組期間：平成27年度～29年度）

若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができ、盛岡に住みたい、住み続けたいと思えるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境の充実に図りました。

また、子どもの健やかな成長の支援や育児不安の解消を通じて子育て世代を応援し、子育てにやさしいまち盛岡の実現を進めました。

■ 重点事業の実績

（単位 千円）

重点事業	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
子ども未来基金事業	2	11,129	9,744	0
子育て世代包括支援センター事業	2	10,492	10,121	0
子育て応援プラザ運営事業	2	25,487	24,979	0
子ども・子育て支援事業計画推進事業	2	500	408	0
特別保育事業 （延長保育実施施設の拡充）	2	117,502	105,704	0
私立児童福祉施設整備助成事業	2	353,649	83,532	242,763
待機児童解消強化事業	2	8,157	5,597	0
保育士確保対策事業 （保育士生活支援補助、保育士の質の向上支援）	2	6,558	6,108	0
私立児童福祉施設等運営事業 （保育士等の処遇改善）	2	150,549	316,586	0
認定こども園等運営費給付事業	2	2,027,585	2,082,311	0
地域児童クラブ等運営事業 （放課後児童クラブ整備費補助）	2	18,722	17,423	0
児童館管理運営事業 （児童厚生員の配置の拡充）	2	5,144	6,615	0
乳児家庭全戸訪問等事業	2	5,837	5,499	0
小児救急輪番制病院事業	2	27,740	27,914	0
医療費給付事業 （妊産婦、乳幼児、小学生）	2	659,352	798,794	0
夜間急患診療所管理運営事業	4	70,101	69,426	0

(単位 千円)

重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
予防接種事業 (幼児・児童インフルエンザ予防接種補助事業)	4	31,504	28,949	0
ワーク・ライフ・バランス推進事業	19	9,501	9,375	0
計		3,539,509	3,610,820	242,763

・ 待機児童解消強化事業

定員弾力化について、当初の見込みより対象となる施設が下回ったため、実績額が小さくなりました。

・ 私立児童福祉施設等運営事業（保育士等の処遇改善）

技能や経験に応じた賃金改善を行うことができる加算額が、新たに上乗せされたことから、実績額が大きくなりました。

・ 児童館管理運営事業（児童厚生員の配置の拡充）

当初、臨時補助員の任用を見込んでいましたが、他の児童厚生員の勤務体制等を考慮し非常勤職員の任用となったため、実績額が大きくなりました。

・ 医療費給付事業（妊産婦、乳幼児）

償還払い方式から現物給付方式に変更されたことから市の立替額が増加し、実績額が大きくなりました。

■ 指標の状況

指標	性格	単位	戦略プロジェクトの目標値・実績値の推移														
待機児童数	↘	人	<table><thead><tr><th>年度</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>当初値 (H26.4.1)</td><td>54</td></tr><tr><td>H26 (H27.4.1)</td><td>9</td></tr><tr><td>H27 (H28.4.1)</td><td>0</td></tr><tr><td>H28 (H29.4.1)</td><td>0</td></tr><tr><td>H29 (H30.4.1)</td><td>0</td></tr><tr><td>H29目標値(0)</td><td>0</td></tr></tbody></table>	年度	値	当初値 (H26.4.1)	54	H26 (H27.4.1)	9	H27 (H28.4.1)	0	H28 (H29.4.1)	0	H29 (H30.4.1)	0	H29目標値(0)	0
年度	値																
当初値 (H26.4.1)	54																
H26 (H27.4.1)	9																
H27 (H28.4.1)	0																
H28 (H29.4.1)	0																
H29 (H30.4.1)	0																
H29目標値(0)	0																
まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合*	↘	%	<table><thead><tr><th>年度</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>当初値</td><td>19.2</td></tr><tr><td>H26</td><td>19.3</td></tr><tr><td>H27</td><td>22.0</td></tr><tr><td>H28</td><td>24.0</td></tr><tr><td>H29</td><td>30.0</td></tr><tr><td>H29目標値(16.4)</td><td>16.4</td></tr></tbody></table>	年度	値	当初値	19.2	H26	19.3	H27	22.0	H28	24.0	H29	30.0	H29目標値(16.4)	16.4
年度	値																
当初値	19.2																
H26	19.3																
H27	22.0																
H28	24.0																
H29	30.0																
H29目標値(16.4)	16.4																
まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	↗	%	<table><thead><tr><th>年度</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>当初値</td><td>17.0</td></tr><tr><td>H26</td><td>15.5</td></tr><tr><td>H27</td><td>13.3</td></tr><tr><td>H28</td><td>15.2</td></tr><tr><td>H29</td><td>15.9</td></tr><tr><td>H29目標値(30.2)</td><td>30.2</td></tr></tbody></table>	年度	値	当初値	17.0	H26	15.5	H27	13.3	H28	15.2	H29	15.9	H29目標値(30.2)	30.2
年度	値																
当初値	17.0																
H26	15.5																
H27	13.3																
H28	15.2																
H29	15.9																
H29目標値(30.2)	30.2																

* 29年度実績の内訳は、『「楽しい」と「つらい」が同じくらい』が20.7%、『どちらかといえば「つらい」と感じる人が多い』が7.4%、『「つらい」と感じる人が多い』が2.0%です。合計が30.0%と合わないのは、端数によるものです。

■ 3年間の主な成果と課題

・ 待機児童解消への取組

27年度から29年度までの3か年にわたり取り組んだ「子育て応援プロジェクト」において、認可保育所や3歳未満児を対象とする小規模保育所などの地域型保育事業の新規開設等を積極的に推進し、694人の保育所定員を拡大し、28年、29年及び30年の4月1日時点で待機児童数は0人となり、目標を達成しました。

一方、年度末にかけては待機児童が増える傾向にあることから、引き続き保育施設等の整備を進めるとともに、保育士の確保についても取り組み、年間を通じた待機児童数0人を達成するため、更なる待機児童解消に取り組む必要があります。

・ 育児不安解消への取組

28年4月には、保健師、助産師、社会福祉士を配置した「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊娠・出産・育児期における切れ目ない支援体制を整備するとともに、29年4月には、社会全体で子育てを支える拠点として「子育て応援プラザ」を開設し、子育て中の親が集える場や子育てを支える市民、団体等が活動、交流できる場づくりを推進しました。

また、乳児家庭全戸訪問の100%実施を目標に取り組み、医療費給付を小学生まで拡大するなど、育児不安の解消や子育ての経済的負担の軽減に取り組んできました。

一方、「子育てをつらいと感じることが多い」または「どちらかといえばつらいと感じることが多い」と答えた子どものいる親の割合が、1.9%（H26）、7.0%（H28）、9.4%（H29）と増加していることから、これまでの取組を更に充実させるとともに、出産や子育ての不安感や孤立感の解消を図っていく必要があります。

■ 今後の方向性

生産年齢人口の減少が進む中、活力ある社会を築いていくため、若い世代にとって暮らしやすい、子育てがしやすい、また女性にとって社会進出がしやすいなど、若い世代や女性が住み続けたいくなるまちをつくることが本市の重要課題となっています。

そのために、若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育て、盛岡に住み続けたいと思えるよう、「子育て応援プロジェクト」の成果と課題を踏まえ、30年度から新たな戦略プロジェクト「みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト」を創設し、年間を通じた待機児童の解消や育児不安解消のための相談体制の整備など、更なる子育てへの支援体制の充実を図り、安心して子育てのできるまちを実現します。

具体には、待機児童解消に向けて、定員の拡大を図るために、施設を増改築する保育所等に補助するなど、企業主導型保育所の設置を奨励します。併せて、保育士の処遇改善や奨学金の返還への支援などの保育士確保対策に取り組めます。

子育ての不安解消に向けては、新たに産婦健康診査や産後ケアに取り組むとともに、引き続き乳児家庭全戸訪問の実施や、「子育て応援プラザ」、「子育て世代包括支援センター」における、切れ目ない厚い支援に取り組めます。また、児童虐待の発生予防・早期発見、早期対応を行うため「子ども家庭総合支援センター」を設置し、「子育て世代包括支援センター」と連携を図り、子どもや保護者に寄り添いながら、訪問等による継続的な相談・支援に取り組めます。

また、子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、医療費給付の対象を中学生まで拡大するほか、市民等による子ども未来基金を活用した子育て支援事業を展開し、更なる子育て支援の充実に向け取り組めます。

重点２ きらり盛岡おでんせプロジェクト（取組期間：平成27年度～29年度）

歴史、自然、文化、先人、まち並みをはじめとする、本市の恵まれた観光資源を生かし、盛岡の魅力に触れ、満足してもらうため、新たな観光資源の開発や掘り起こし、ブラッシュアップを推進しました。

また、盛岡ブランドなど当市のきらり光る魅力を多様な手段で発信するとともに、「スポーツ」や「食」などを切り口に、更なる交流人口の拡大と盛岡ファンづくりを推進しました。

重点事業の実績

(単位 千円)

重点事業	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業	13	10,443	9,148	0
盛岡ブランド確立事業	14	3,391	3,332	0
盛岡の川賑わい創出事業	14	3,000	2,921	0
地域おこし協力隊活用事業 (盛岡が持つ魅力のPR)	14	7,377	6,073	0
公園等維持管理総務事務 (いしがきミュージックフェスティバル支援事業)	19	3,000	4,000	0
盛岡三大麺普及事業	22	295	295	0
外国人観光客等受入環境整備・情報発信事業	24	5,955	5,973	0
盛岡デー等観光PR事業 (盛岡市の物産と観光展開催事業)	24	3,000	3,000	0
盛岡デー等観光PR事業 (盛岡デー開催事業)	24	4,690	4,690	0
盛岡デー等観光PR事業 (誘客重点市場・物産販路新規開拓調査事業)	24	1,000	1,000	0
盛岡デー等観光PR事業 (東北六都市連携による誘客・地域産品プロモーション事業)	24	450	20	0
盛岡デー等観光PR事業 (東北復興イベント開催事業)	24	15,000	14,999	0
祭り・イベント振興事業 (盛岡さんさ踊り40回記念事業)	24	16,775	16,024	0
MICE（マイス）誘致推進事業	24	24,000	23,500	0
地域おこし協力隊活用事業 (ユートランド姫神を軸とした玉山エリアの活性化)	24	7,377	5,008	0
計		105,753	99,983	0

・ 公園等維持管理総務事務（いしがきミュージックフェスティバル支援事業）

当初予算で計上していなかった県補助金が地域経営推進事業費として歳入に加わり、実績額が大きくな

りました。

・ 盛岡デー等観光PR事業（東北六都市連携による誘客・地域産品プロモーション事業）

プロモーション対象国をアメリカ合衆国からタイに変更して実施したほか、東京都内で開催された2020東京オリンピック・パラリンピック関連イベントで観光PR活動を行いました。他機関・他団体予算の事業となったため、実績額が小さくなりました。

・ 地域おこし協力隊活用事業（ユートランド姫神を軸とした玉山エリアの活性化）

4月からの着任予定が、7月及び8月から各1名の着任となったため、実績額が小さくなりました。

※ 平成29年3月補正（前倒し補正）により実施した事業

（単位 千円）

重点事業	施策番号	計画額	実績額
玉山地域賑わい創出事業 （総合交流ターミナル機能の拡充）	24	105,680	95,490
計		105,680	95,490

- ・ 玉山地域賑わい創出事業（総合交流ターミナル機能の拡充）については、平成29年3月補正により、前倒しによる実施となりました。

■ 指標の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移														
観光客入込数	↗	万人回	<table><thead><tr><th>年度</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>当初値</td><td>472</td></tr><tr><td>H26</td><td>497</td></tr><tr><td>H27</td><td>509</td></tr><tr><td>H28</td><td>500</td></tr><tr><td>H29</td><td>500</td></tr><tr><td>H29目標値</td><td>490</td></tr></tbody></table>	年度	値	当初値	472	H26	497	H27	509	H28	500	H29	500	H29目標値	490
年度	値																
当初値	472																
H26	497																
H27	509																
H28	500																
H29	500																
H29目標値	490																
まちづくり評価アンケート調査「盛岡が好き」と答えた市民の割合	↗	%	<table><thead><tr><th>年度</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>当初値</td><td>78.0</td></tr><tr><td>H26</td><td>68.7</td></tr><tr><td>H27</td><td>77.7</td></tr><tr><td>H28</td><td>78.5</td></tr><tr><td>H29</td><td>76.9</td></tr><tr><td>H29目標値</td><td>79.4</td></tr></tbody></table>	年度	値	当初値	78.0	H26	68.7	H27	77.7	H28	78.5	H29	76.9	H29目標値	79.4
年度	値																
当初値	78.0																
H26	68.7																
H27	77.7																
H28	78.5																
H29	76.9																
H29目標値	79.4																
地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」*	↗	位	<table><thead><tr><th>年度</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>当初値</td><td>58</td></tr><tr><td>H27</td><td>63</td></tr><tr><td>H28</td><td>117</td></tr><tr><td>H29</td><td>62</td></tr><tr><td>H29目標値</td><td>53</td></tr></tbody></table>	年度	値	当初値	58	H27	63	H28	117	H29	62	H29目標値	53		
年度	値																
当初値	58																
H27	63																
H28	117																
H29	62																
H29目標値	53																

* 当初値は26年度の実績としています。

■ 3年間の主な成果と課題

- ・ 「希望郷いわて国体」「希望郷いわて大会」の遺産（レガシー）の継承とホストタウン事業の推進
カナダを相手国とする2020東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンの第3次登録が決定し、事前キャンプ誘致活動やラグビーワールドカップ2019TM日本大会の公認チームキャンプ地選定に向けた申請を行ったほか、県や広域市町などの関係機関・団体と連携しながら国際大会やスポーツ合宿の誘致を行うなど、本市及び盛岡広域が有する優位性を内外にアピールしました。

その結果、水球とラグビーのナショナルチームの合宿受入れやスポーツクライミング第1回コンバインドジャパンカップ2018の開催が決定したほか、テニス男子国別対抗戦「デビスカップ」を開催することができました。今後はスポーツクライミングをはじめ他の競技の誘致を引き続き進めるとともに、ホストタウン事業の推進により教育文化や国際化の推進など、幅広い分野に波及させる取組を進める必要があります。

- ・ 観光客誘致等の取組

首都圏等で開催する盛岡デーや物産と観光展などの観光PR事業をはじめ、台湾やタイを対象国とする海外プロモーション、国内外に向けた積極的な情報発信に継続して取り組んでおり、年間観光客入込数は目標値の490万人回を上回る実績で推移しているほか、27年度に創設したMICE開催助成制度は、3年間で国際大会11件を含む58件のMICE開催に助成を行い、交流人口の増加と地域経済の振興に寄与しています。

このため、国内外に盛岡ファンを増やし、訪問先として選んでもらえるよう、MICE開催助成制度の更なる周知と活用を図り、各種コンベンションの誘致を推進するとともに、観光資源の掘り起こしやブラッシュアップを推進し、観光客への訴求力を高めるほか、祭りや伝統文化、音楽やスポーツなど当市の地域資源を活用し、交流機会やにぎわいの創出を図るなど、観光客誘致の取組を力強く展開する必要があります。

- ・ 外国人観光客等受入環境整備への取組

外国人観光客入込数は、27年に1万3,599人回、28年に2万3,649人回、29年には観光統計開始以降の最高となる3万4,249人回と年1万人ペースで増えており、今後もアジア諸国を中心に増加傾向が続くと見込まれることから、更なる外国人観光客の誘致に向けて、観光案内板の多言語表記など受入環境の整備を図るとともに、関係機関や関係団体などと連携し、積極的な海外向けの情報発信やプロモーション活動を行う必要があります。

■ 今後の方向性

人口減少・少子高齢社会の進行とグローバル化の進展を背景に、地方から大都市圏への人口流出が続く中、まちの活力を維持していくためには、定住人口や交流人口の増加に向けた取組を推進していく必要があります。本市の重要課題となっています。

そのために、「きらり盛岡おでんせプロジェクト」の成果と課題を踏まえ、新たな戦略プロジェクトとして「2020あつまる・つながるまちプロジェクト」を創設し、盛岡ファンや交流人口の増加に向けて、交流機会やにぎわいの創出に努め、魅力あふれるまちの実現を目指します。

具体には、2020東京オリンピック・パラリンピックなどの事前キャンプの誘致や、多くの集客と地域経済への効果が期待できる大規模スポーツ大会の誘致に取り組むほか、北上川を活用した観光資源の開発、盛岡城跡公園を主会場に開催される、いしがきミュージックフェスティバルへの支援など、交流人口の拡大に資する事業に取り組みます。

また、これまでの観光客誘致の取組により、目標指標である観光客入込数は堅調に推移していますが、訪日外国人旅行客が増加する中、東北を訪れる外国人旅行客は他の地域に比べて少ないことから、観光客の更なる増加に向け、引き続き戦略プロジェクトとして取り組みます。

重点3 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト（取組期間：平成29年度～31年度）

本市の魅力ある農畜産物などの地域資源を活用した取組を進めるとともに、関連する食品関連産業やものづくり関連産業の高付加価値化や操業環境整備の取組により産業の振興を図ります。

また、戦略的な企業誘致や企業支援のほか、新たな市場開拓や新商品開発等を目的とした異業種交流の促進により、活力あふれるまちづくりを推進します。

重点事業の実績

(単位 千円)

重点事業	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
食と農の連携推進事業 (食と農のバリューアップ推進事業)	21	25,000	24,970	0
食と農の連携推進事業 (盛岡の食材プロモーション事業)	21	1,960	1,960	0
新規就農・経営継承総合支援事業	21	23,029	19,579	0
畜産振興事業 (もりおか短角牛振興事業)	21	300	300	0
畜産振興事業 (もりおか短角牛肥育経営安定化対策事業)	21	5,000	2,867	0
地域おこし協力隊活用事業 (「農」を軸とした大ケ生ライフのモデル構築)	21	8,000	2,772	0
地域おこし協力隊活用事業【再掲】* (ユートランド姫神を軸とした玉山エリアの活性化)	21	7,377	5,008	0
まちなかマッチング事業	22	6,000	5,981	0
商店街活性化支援事業 (まちなか出店促進事業)	22	2,800	1,390	0
産業支援事業	23	2,382	1,922	0
工場新設拡充等事業	23	58,159	47,352	0
新産業等用地整備事業	23	31,100	27,167	0
工業振興事業 (盛岡工業団地に隣接する工場用地整備)	23	26,900	7,783	4,634
ものづくり産業魅力向上事業	23	2,122	2,122	0
計		200,129	151,173	4,634

* 地域おこし協力隊活用事業（ユートランド姫神を軸とした玉山エリアの活性化）は、29年度においては、きらり盛岡おでんせプロジェクトと「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクトの2つのプロジェクトの構成事業となっています。

畜産振興事業（もりおか短角牛肥育経営安定化対策事業）

もと牛の市場価格が大幅に下がったため、実績額が小さくなりました。

- ・ 地域おこし協力隊活用事業（「農」を軸とした大ケ生ライフのモデル構築）
大ケ生地域の地域おこし協力隊員2人分の予算に対し、任用が1人となったため、実績額が小さくなりました。
- ・ 地域おこし協力隊活用事業（ユートランド姫神を軸とした玉山エリアの活性化）
4月からの着任予定が、7月及び8月から各1名の着任となったため、実績額が小さくなりました。
- ・ 工業振興事業（盛岡工業団地に隣接する工場用地整備）
樹木伐採と撤去解体を分離発注したことにより、当初計画より低廉となり、実績額が小さくなりました。

※ 平成29年3月補正（前倒し補正）により実施した事業

（単位 千円）

重点事業	施策番号	計画額	実績額
玉山地域賑わい創出事業【再掲】* （総合交流ターミナル機能の拡充）	21	105,680	95,490
計		105,680	95,490

* 玉山地域賑わい創出事業（総合交流ターミナル機能の拡充）は、29年度においては、きり盛岡おでんせプロジェクトと「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクトの2つのプロジェクトの構成事業となっています。

■ 指標の状況

指標	性格	単位	戦略プロジェクトの目標値・実績値の推移															
農畜産物加工品販売額	↗	百万円	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>当初値</td><td>18</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>22</td><td></td></tr><tr><td>H29</td><td>21</td><td></td></tr><tr><td>H31</td><td></td><td>27</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	当初値	18		H28	22		H29	21		H31		27
年度	実績値	目標値																
当初値	18																	
H28	22																	
H29	21																	
H31		27																
製造業粗付加価値額*1	↗	千万円	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>当初値</td><td>4,209</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>5,583</td><td></td></tr><tr><td>H29</td><td>4,716</td><td></td></tr><tr><td>H31</td><td></td><td>4,377</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	当初値	4,209		H28	5,583		H29	4,716		H31		4,377
年度	実績値	目標値																
当初値	4,209																	
H28	5,583																	
H29	4,716																	
H31		4,377																
異業種交流における商談成立件数*2	↗	件	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>当初値</td><td>27</td><td></td></tr><tr><td>H28</td><td>43</td><td></td></tr><tr><td>H29</td><td>76</td><td></td></tr><tr><td>H31</td><td></td><td>110</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	当初値	27		H28	43		H29	76		H31		110
年度	実績値	目標値																
当初値	27																	
H28	43																	
H29	76																	
H31		110																

*1 売上高から原材料費や仕入原価などの変動費を差し引いたものです。

*2 異業種交流における商談成立件数の目標値及び実績値は、27年度からの累計です。

■ 主な成果と課題

・ 農林業の振興

盛岡産農畜産物の高付加価値化や認知度向上、消費拡大を図るため「もりおかの食と農バリューアップ推進戦略」を策定し、「盛岡の美味しいもんアンバサダー」認定制度の創設、食関連事業者向け商談会や産地訪問ツアーの開催等に取り組みました。

新規就農者の確保・育成に向けては、市単独の親元就農給付金制度の創設などにより、15名の新規就農者を確保しました。

特産食材である「もりおか短角牛」の出荷頭数の増加に向けては、肥育農家の子牛購入経費の一部を助成する制度を創設し、肥育経営の安定化に取り組みました。

今後の課題としては、盛岡産農畜産物のさらなる魅力発信に向けた取組強化、新規就農者の担い手への移行に対する支援、「もりおか短角牛」の新規肥育農家の育成・確保のほか、「アロニア」、「津志田芋」、「行者にんにく」については加工品販売額の増加に向けた取組強化などが挙げられます。

・ 工業の振興

経済情勢が上向きであること等により、企業の設備投資が増加傾向にあり、指標向上に寄与しています。

一方で、市内に製造業等の産業用地がほとんどない状況にあり、地場企業の業務拡張、創業環境の向上に支障をきたすとともに、市内に新たに立地しようとする企業に用地を斡旋できない状況にあります。これは、産業支援施設入居企業の退去後の受け皿についても同様の状況です。

・ 商業・サービス業の振興

商談成立件数が伸びています。これは、生産者とバイヤーそれぞれのニーズに合った事業者へ参加を呼びかけたことで、商談会の魅力が向上したことや、「食材活用セミナー」を開催したことが寄与したと考えられます。

一方、問題点として、参加事業者が固定化する傾向にあります。

■ 今後の方向性

・ 農林業の振興

「もりおかの食と農バリューアップ推進戦略」に基づくアクションプランを着実に実行し、盛岡産農畜産物の高付加価値化や認知度向上、消費拡大を目指します。また、新規就農者の確保と育成のため、関係機関と連携し、きめ細かな支援を行います。

「盛岡りんご」は、農協によるタイ、ベトナム、台湾への輸出に加え、カナダへの輸出に向けた取組に対し、側面から支援を行い、販路拡大に結び付けます。

「もりおか短角牛」は、消費者に安定的に供給できる生産体制を整備するため、引き続き、子牛購入経費の助成などの振興策に取り組みます。

「アロニア」と「行者にんにく」は、築川地区と藪川地区にそれぞれ着任した地域おこし協力隊員と連携しながら、販路拡大に取り組むほか、「津志田芋」については、30年度以降の芋焼酎の製造について、製造、販売者等関係者との協議を進めます。

・ 工業の振興

道明地区の新産業等用地の整備を進めます。道明地区の準工業地域のうち、第一事業区については、33年2月までに整備が終了するよう、関係各部署との調整を行い、事業の円滑な推進を図るとともに、地場企業を含む企業の新設・拡充・移転等の意向把握に努め、早期の売却を目指します。

・ 商業・サービス業の振興

商談会を全3回開催し、商談成立件数を増加させます。

商談会のほかに、見本市や産地訪問見学会を開催し、商談会の効果を上げます。